

生きがい

第40号

令和8年1月発行

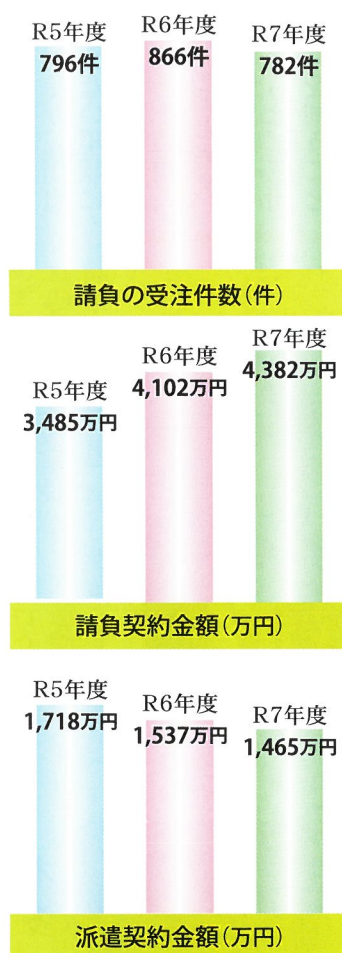
〒997-1301 東田川郡三川町
大字横山字西田52-1

TEL 0235-66-5088

FAX 0235-33-8029

URL(ホームページアドレス):<https://mikawa.yamagataren.org/>

11月末実績3ヶ年比較



信頼の証、あかし請負の契約金額は年々増

令和7年度事業実績(11月末)

令和7年度11月末の事業実績は、上記グラフの通りとなりました。令和7年4月にスタートして以来、業務のご依頼は、前年度までと同様、三川町に止まらず、鶴岡市や庄内町、酒田市のお客様からも多く寄せられ、一つ一ついい迅速に遂行した結果、(4ページへつづく)



町民始め、町や
これらひとえに
てまいりました。
の貢献に寄与し
実と地域社会へ
の生きがいの充
この間、高齢者
周年になります。
さて、当センターは本年度で設立30

企業、関係団体のご理解とご協力、
そして会員皆様の多大なご尽力の賜
物と深く感謝申し上げます。
昨年の夏も真夏日が続きました。仕事に
は厳しい日が続きました。会員皆様
にあつては、熱中症への注意喚起な
ど、色々ご苦労もあったと思います。
地球温暖化と言ってもあまりピンと
きませんが、実感として捉えるべき
かと思っています。
今、当センターの喫緊の課題は、会
員の拡大です。仕事のご依頼に応じ

きれないのが現状です。特に女性会
員の入会促進を図りたいと考えてい
ます。そのためのセミナーや趣味サー
クルなどの開催を準備しています。
会員の平均年齢も年々上昇してお
りますが、社会構造やライフスタイ
ルの多様化に伴ったニーズの複雑化
が増す中で、地域に密着した私達の
小さな仕事が必要な社会を支えてい
ます。
本年も皆様が元気に活躍される
ことを祈念致します。

皆様に支えられて設立30周年

理事長 須藤 栄 弘



令和7年11月末、三川町シルバー人材センターの会員数は、男性72名、女性51名の計123名です。会員対象が三川町在住者に限られることから、会員数は徐々に増えない現状にあります。それでも、会員を拡大することが課題であり、それには町民の皆さんへの幅広い声かけ、会員とその知人を通してネットワークを最大限活かすことが重要と考え、手始めに、女性のつどい「おしるこの会」を開催しました。特別ゲストとしてお招きした5名の皆さんからは、三川町で先頭に立って活動される中での貴重なお話を伺うことができました。「おしるこの会」が契機となり、新しい仲間が一人でも多く増えることを期待します。

三川町健康福祉課
子育て支援室長
加藤 恵美 さん



三川町会計課長兼町民課長
本多 由紀 さん



何より健康に
留意して

町民課として、マイナンバーカードの普及に取り組み、三川町では9割まで普及が進みました。これからも、マイナ保険証と合わせ、更に普及率を上げていきたいと考えています。

ここに来る前、危機管理室からは、いついかなる災害にも備えること。健康福祉課からは、年齢を重ねると外反母趾、骨粗しょう症などに気をつける必要がある、などと言われました。何より健康に留意され、これからもがんばってください。個人的には毎年、庭木の剪定作業を行っていただき、ありがとうございます。

手厚く子育て支援
みかわ保育園幼稚園や学童保育など、広範囲に渡って子育て支援の仕事をしています。それでも令和7年、三川町の新生児は30人です。子どもを産み育てるには、結婚支援も必要であり、男性の育休取得拡大も必要です。町民の皆さんには、これからも子育てへのご理解、ご支援をよろしくお願いします。シルバーの皆さんには、みかわ保育園幼稚園の「なかよし農園」を始め、色々な面でお世話になり、本当にありがとうございます。

三川町議会議員
佐竹 優子 さん



誰かの役に立つために

今年の2月から町議会にお世話になりました。現在は女性2名になりましたが、入る前は、女性が入りにくいイメージがありました。入って初めて気づくことがたくさんあります。女性性は自分の仕事の他に

に子育て、親の介護、地域での仕事など、多くの役割を抱えています。不安に思っていることを解消してあげたり、ファミリーサポート制度の確立を急ぐ必要があります。シルバーの仕事をする、誰かの役に立つ、お給料をもらえる、こんな素晴らしいことはありません。これからも健康でいきいき活動されることを期待しています。



▲ 始めに理事長があいさつ、「皆さん、シルバーの別名、シニア・パワーステーション、に結集を！」

女性のネットワークを 活かして 会員の拡大にご協力を！ R7.12/17(水) 女性のつどい「おしるこの会」開催

JA庄内たがわ三川支所長

門脇 富士美 さん



JAの特典ご利用を

シルバーの皆さんには日頃よりお世話になり、心より御礼を申し上げます。本日はJAより、耳よりなお話をおつなぎしたい

と思います。

皆さん、元気に働くと同時に年金も受給されていると思いますが、JAを通して年金を受給し、4名以上で宿泊を伴う旅行をされる場合には、一人一人に旅行代金の一部を助成します。また、5名以上の

三川町議会議員

土田 市子 さん

人を喜ばせることなら



皆さん、「シルバー」ということですが、私は「ゴールド」だと思っています。人の体で言えば、「リンパ」、体を潤滑にして維持していくには欠かせない存在です。今年の2月から議会にお世

話になっていますが、何もなところからの出発でした。社会福祉の「よれちや家」で、長年ボランティアに取り組んできました。人を喜ばせることに生きがいを感じてきました。それではここで、「よれちや家」でも披露してきました、昔話の一つ、「昔々あるところに、仲のいいおじいさんとおばあさんがいっただけど…」



▲ 役員の男性陣が、おしるこの「もち」を焼いて、バックアップしました。

ストレス解消法三つ以上は持つこと

令和7年10月10日(金)、「山形ビッググウイング」にて開催された令和7年度安全就業推進大会において、(株)ドリームゲート・ウェルベール山・今野陽介店長が、「足腰と脳を鍛えて健康ライフ」という講演を行いました。いつまでも健康を保つためのいいお話がたくさんありましたので、その一部を紹介いたします。

「ウェルベール山」は、村山市と医師会、企業が連携して運営しているメディカルフィットネスジムです。廃校になった楠岡高校の校舎を利用して、医師のアドバ

イスによる安心安全で効果的な運動療法を実践しています。皆さん、改めて「健康」とは何でしょう。病気やケガのない元気な身体、ストレスを溜めず受け流す精

神、これらが社会的にも発揮されていることではないでしょうか。その健康は、「栄養」「運動」「休養」の三者が一体となることで保たれます。それでも、65歳以上になると、毎日運動しても筋肉は落ちます。毎日欠かさず、低程度の有酸素運動(継続する運動)とストレッチ(柔軟体操)を行うことが肝要です。運動し

たら、必ず水分補給を行うこと。1回で2〜3ℓ、一日最低でも2ℓの水分が必要です。また、ストレスはコントロールすること。自分なりにストレス解消法を三つ以上は持つこと。一つではダメ、二つでも足りません。三つ以上は持つて、いつでもどこでもストレスを解消すること。これで健康を保つ精神が養えます。

R7・12/23(火)より最低賃金適用

(1ページよりつづく)
請負の受注件数としては、前年度より84件下回ったものの、契約金額は前年度より280万円上回る4千382万円となりました。草刈・除草・剪定などの業務は今後ますます増えることが予

想され、作業に携わる人員を確保することが喫緊の課題となっています。一方、派遣業務においては、派遣先が町内の企業に限られ、派遣人員も大きく増やすことができないため、契約金額は前年度より72万円下回る

1千465万円となりました。派遣先の企業とは、これからも連絡を密に円滑な業務運営に努めてまいります。国の方針に基づき、最低賃金は毎年上がる傾向にあり、山形地方最低賃金審議会は9月19日、955円から77

円引き上げ、1千32円とすることを決定しました。適用開始日は12月23日になったことを受け、請負のご依頼先企業、派遣先企業代表者の皆さんに状況を説明し、配分金単価、派遣賃金の改定について、ご理解を得ることができました。これからもご依頼先の信頼に応えるべく、真摯に業務を遂行する必要があります。

11/13(木)

秋の味覚が届くよう

(株)元青果さん庄内柿パック作業



▲今年も、秋の味覚・庄内柿が豊かに実り、(株)元青果さんの量販店向けパック作業を、10月16日(木)から11月15日(土)まで行いました。携わる人員は少ないながらも、多くの皆さんにうれしい庄内柿が届くよう、手際よくていねいな作業を心掛けました。

11/7(金)

松枯れ深刻!

(株)イタガキさん松の木伐採作業



▲庄内海岸林自慢の黒松が松枯れの被害に遭い、深刻な状況になっています。松枯れを引き起こすマツノマダラカミキリ(寄生するマツノザイセンチュウ)は、生きた松を求めて飛散するらしく、当町においても、至る所で松枯れが広がっています。(株)イタガキさんの作業に止まらず、これからも松の木伐採作業のご依頼が増えそうです。

がんばりに「ありがとう」 一所懸命な一番のごほうび

10/24(金)

長年のボランティア活動に感謝状 なの花荘創立30周年

今年度は入賞ならず

令和7年度「安全就業に関する標語」



▲三川町特別養護老人施設「なの花荘」が平成7年4月に開所して30周年を迎え、その記念式典が開催されました。当センターは翌年から今日まで、除草と窓磨き作業のボランティア活動続け、入居者の快適な生活環境の充実に寄与したとして、感謝状を贈られました。これからも、シルバーの力を合わせ、心温まるボランティア活動を続けていきたいと思ひます。

10/30(木)

みかわ保育園園児が球根植え 咲き誇れチューリップ



▲みかわ保育園幼稚園4歳組の子ども達がチューリップの球根を植え、菜の花の種を播きました。シルバーはそのお手伝いです。子ども達とシルバーとの合同作業が、雪が溶けて春、きれいな花となり、新しく入園する子ども達を迎えます。

令和7年度8～12月活動スナップ

令和6年度の「安全就業に関する標語」は、当センター会員・五十嵐節子さんの作品が見事、最優秀賞に輝きました。令和7年度も、ふるって応募しましたが、残念ながら2年連続の入賞を果たすことはできませんでした。県内25センター746編の中から入賞したのは、次の作品です。

最優秀賞

「前できた今もできるぞそれ過信」

南陽市SC会員 土屋 茂さん

優秀賞

「安全は確認作業の積み重ね」

村山市SC会員 半澤 裕さん

「気を抜く油断の先に危険あり」

山形市SC会員 武田 貴行さん

佳作

「安全は過信をすてる一歩から」

鶴岡市SC会員 齋藤 きみ子さん

「安全は仲間同士の支え愛」

新庄・最上地域SC会員 阿部 幸三さん

「シルバーの生きがいを守る安全就業」

山形市SC会員 塩野 美智子さん

「そのヒヤリ即改善でゼロ災に」

庄内町SC会員 斎藤 貴士さん

「安全は日々の注意の積み重ね」

寒河江市SC会員 安孫子 修さん

職員優秀賞

「まあいいか小さな油断に事故潜む」

東根市SC職員 黒沼 光一郎さん

10/8(水)

ゆつくり、たっぷり！

湯野浜温泉にて「日帰り研修会」

令和7年度の「会員日帰り研修会」が10月8日（水）に開催されました。参加18名は、送迎バスにて一路、湯野浜温泉「愉海亭みやじ

ま」へ向かいました。会場に到着すると、すぐに研修となり、「令和7年度上半期の事業」を振り返りました。春の農作業から長く暑かった夏の作業も、会員全員

が体調管理を万全にしてがんばった結果、好調だった6年度を更に上回る実績を上げることができました。次に、「安全就業の徹底」では、安全就業を続けるための前提、健康習慣5ヶ条を守ること。



▲ ごちそうと飲み物はたっぷり。カラオケもたっぷり。ゆつくり、前半戦の苦労をねぎらいました。



▲ 始めに理事長があいさつ。その後は、前半戦の業務を振り返り、そして安全就業の徹底を確認しました。

すなわち、1. バランスの取れた食事、2. 適度な運動、3. 飲酒量も適度に、4. 十分な睡眠、5. ストレスを適切に管理すること、を確認しました。入浴・休憩した後は、お待ちかねの懇親会。食の都・庄内、海の幸をたっぷり味わい、カラオケも心ゆくまで楽しみました。締めくくりは、いつものお楽しみ抽選会。特賞から参加賞まで、参加者には全員に賞品があり、盛り上がりました。がんばった前半戦の疲れを十分に癒やす一日となりました。

編集後記

▽2025年の「新語・流行語大賞」は、高市早苗首相が10月21日、自民党総裁に選出された時の一節、「働いて働いて働いて…」でした。一部の人達からは「長時間労働を助長するもの」と批判が来ましたが、首相自らのSNSで、「長時間労働を美德としたり、奨励する意図はない。『国家の経営者』を指すにあたり、国民のために懸命に働いていく、その決意を示したものだ」と述べました。▽日本の憲政史上、初の女性総理大臣として、少数与党が故に綱渡りが続く国会において、閣外連立政権を率いる党首として、賛否両論喧しい経済財政論の中、責任ある積極財政を掲げて果敢に経済対策を進める舵取り役として、台湾有事をめぐる国会答弁に反発して対抗策を強める中国に対して、毅然と主張を貫く国家のリーダーとして、高市首相の全身には想像もつかない重圧があるものと推察します。その重圧を跳ね返し、国のトップとして働き続けるには、何より健康と休息が第一です。▽私達一国民は、「誰もが将来に希望を持ち、安全安心に暮らせる国づくり」を期待しながら、ストレスを溜めず、息を抜く時は抜いて抜いて抜いて…、休む時は疲れが残らないよう、十分に「休んで休んで休んで…」、働く時には、常に生きがいを持ち、働く者同士仲良く楽しく「働いて働いて働いて…」まいりたいと考えます。2026年も素晴らしい年になりますように。

(事務局・K)